



## 車椅子の視点から防災へ！ ～かわせみ防災プロジェクト～



埼玉県立日高特別支援学校

### 本プランの目的

1. 訓練方法、研修を通じて防災力  
(自助) 向上
2. 車椅子の人たちが取り組みやすい  
防災プログラム
3. P T A 防災委員会・地域との連携

# 1. 訓練方法、研修を通じて 防災力（自助）向上

ショート訓練

避難訓練

引き渡し訓練

職員研修  
(避難所設営訓練)

アクションカードの活用



## ショート訓練の充実

- ・ 緊急地震速報を用いた訓練  
短時間でいつでもどこでも訓練ができる
- ・ 抜き打ちの訓練  
いつでもどこでも対応できるように
- ・ 自分で、または教員と一緒に  
身を守る行動がとれるようになる。



いつでも地震が起こる可能性がある

## 訓練計画の見直し

- ・毎月ではマンネリ化
- ・奇をてらう必要はない（抜き打ち・告知）
- ・ねらいを絞る（対応力を付ける）



年5回 隔月実施  
1週間の期間 抜き打ち  
3年計画

## ショート訓練 3年計画



隔月実施  
3年間で1日分の動きを確認

## ショート訓練における3年半の取り組み

ショート訓練、こんな短時間で何の成果が出るのだろうか？



でもこの数年間の積み重ねは大きな成果となっている



地震が起きた時に身を守るために何に気をつければいいのか、すぐに判断し、生徒の身を守ることができるようになってきた。



生徒たちも落ち着いて行動し、身を守ることができるようになってきた



## 本校の実態に即した想定 of 避難訓練

- ・ 放送が故障！ ...声の伝達
- ・ 上から空調が落ちた！ ...周囲の安全確認
- ・ 誰か倒れている！ ...負傷者救助
- ・ 指令カード...考えるきっかけ
- ・ 防火扉...開けられる？



様々な想定・現実的  
考えるきっかけ  
柔軟な対応力



## 目的・手順を明確にした引き渡し訓練

参加学年を限定し、最低限の負担で実施  
災害時組織班の動きを確認  
フリーの教員が全体を見る

(成果)

- ・ 引き渡し手順の確認ができた
- ・ 全体の動きを様々な視点でチェック

(課題)

- ・ 学校災害対策本部の設置場所・動き
- ・ 教職員だけでシュミレーションを行う必要性



## 第1回職員研修 福祉避難所設営訓練

(想定) 前日夜に地震発生 翌日参集  
学校の安全を確認し、避難所設営準備

本部の場所の表示・ビブス着用で明確に

報告・連絡・相談は必ず本部に

アクションカードの活用



# 目黒巻を利用したシュミレーション

様々な場面から災害時の動きを考える

一昨年度作成した場面ごとの  
対応表の改訂



もし、こんな場所で地震がおこったらどうする？

教室	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
ホール	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
廊下	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
エレベーター	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
トイレ	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
図書室	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
職員室	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。
校舎外	・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。 ・机の下へ避難し、机と机の間へ身を隠す。

## 第2回職員研修 防災教育指導法研修

かわせみ防災タイムと「身に付けさせたい9つの視点」との関連性

防災教育のねらいとその視点について

外部講師が取り組みを評価→自信に繋がる



## 成果

- ・ 災害時アクションカードは、役割内容が分かりやすく、学校現場でも実用性が高い
- ・ 様々な状況を想定し、現実的な訓練になった体験したことで、イメージを持ちやすくなった

## 課題

- ・ 震度6では車椅子のブレーキが利かない身を守れない
- ・ 自分たちは正しいのか？
- ・ 訓練や研修を行うほど「無理なのかも」という不安



## 防災対策にベストはない！

最善を尽くすために  
今ある不安・疑問を引き出す  
諦めない

今よりもよりベターに

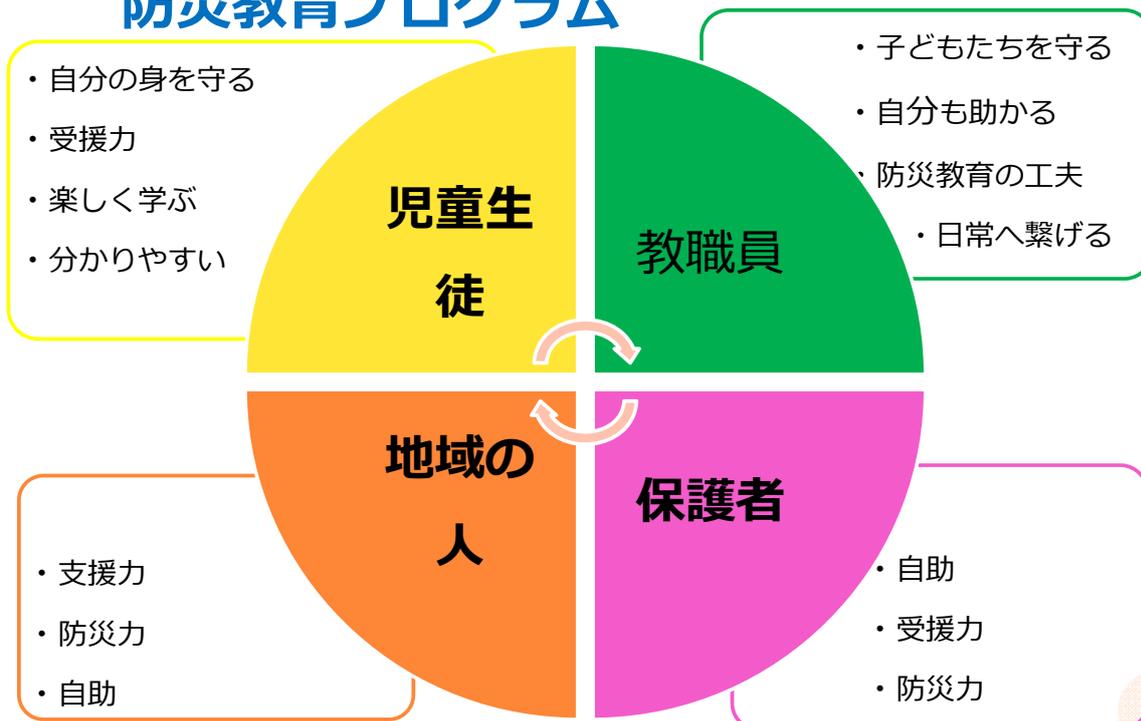
車椅子が動く！

周囲の環境を整える  
自助力の向上

助けを求める  
受援力の向上

最善策を考えていく  
考えないと「いざと言う時動けない」

## 2. 車椅子の人たちが取り組みやすい 防災教育プログラム



防災体験プログラム

専門家の支援

HPで発信

防災教育チャレンジプラン

ぼうさい甲子園

全国肢体不自由特別支援学校  
PTA連合会

## かわせみ防災タイム

今年度より実施

- (1) 本校児童生徒職員が様々な状況を想定した体験を通して、災害から身を守る方法を知る。
- (2) 集団の大きさや指導内容を変えることで個々の実態に応じた指導を行う。



## わかりやすい教材

生活年齢・発達段階によっても考慮する

小学部…クイズ、紙芝居、教室の写真（具体物）

中学部…生徒の見本、本やDVDの活用

高等部…ニュースの災害情報を元に、より専門的に  
「あたりまえ防災体操」



## 疑似体験の工夫

車椅子だからこそ分かる体験を

本校の実情から予想されることを体験する



## 防災委員会の活動（小4～高3）

・本校を安全にするために、防災についての課題を見つけ、解決するための取り組みを行う。

・かわせみ防災タイムの中心的存在となり活動を行う。



## ひだか防災安全マップづくり



落ちてくる

車に注意！



倒れてくる  
移動してくる



落ちてくる



## 第7回かわせみ防災タイム 「地震の時の身の守り方を確認しよう」

高等部の生徒が  
池袋の防災館で  
地震体験をした時の  
様子を発表しました



ひだか防災安全  
マップの発表を  
しました



## みんなであたりまえ防災体操

みどりのマーク非常口だよ  
慌てず外へ！  
あたりまえ防災～



COWCOW・吉本興業に許可を得る  
日高バージョンで作製

## 第6回かわせみ防災タイム 非常食を食べよう

工夫して美味しく

- ・ 乾パン
- ・ フリーズドライ  
のおかゆ



みんな楽しく



調理方法を知る



みんな一緒に

## 成果

- ・ 要点を絞った内容で分かりやすい。
- ・ 学部、学年単位で行うことで指導しやすい。活動しやすく、少人数で分かりやすい。
- ・ あたりまえ防災体操は親しみが持てた。
- ・ 防災委員会の取り組みがよい。意欲的に参加。

## 課題

- ・ 学年、グループの指導が難しい
- ・ 定着まで地道な取り組みを

## 3. P T A 防災委員会・地域との連携

防災体験プログラム

P T A 防災学習会

災害時サポートブック

ホームページ・ひだか防災部便りで発信

学校開放講座

# 防災体験プログラム

～保護者・地域・専門家とともに～

## 防災スタンプラリー

暗闇、ガラス、エコキャンドル  
防災ゲーム、クイズ、炊き出し  
映画、本、家具の転倒防止  
災害医療について、心肺蘇生法  
起震車および水消火器体験など

校内・校外で  
85名の参加

**防災体験プログラム**  
～防災について考え、体験してみませんか？～

都下自由校でもある日高特別支援学校は防災対策に力を入れています！  
災害時、車椅子の子どもたちがいる場合はどんな点に注意すれば良いのか、事前に考えておくことでいざという時に被害や危険さを軽減できるからです。

そんな本校は日高市と福祉避難所の協定を結んでいます。  
「福祉避難所ってなに？」「福祉避難所の日高特別支援学校ってどんなところ？」「防災対策ってしたらいいの？」と思われた方、ぜひ本校の防災プログラムに参加してみませんか？車椅子ならではの防災対策と一緒に考えていきましょう！

日時：平成27年7月29日(水) 10:00～14:30  
場所：埼玉県立日高特別支援学校場所 体育館・会議室 他

●●●当日の内容●●●  
・避難所体験…避難所ってどういうところ？  
・防災スタンプラリー  
・起震車体験  
・防災エコキャンドル作り  
・災害時の避難相談コーナー  
・心肺蘇生法三角巾手当て  
・ヘルプカード作り

いろいろ企画しています！  
・水消火器体験  
・防災ゲーム&防災クイズ  
・災害用トイレ作り  
・地域のハザードマップ公開  
・家具の転倒防止対策

※本校児童生徒は炊き出しや非常食の試食体験もできます！(事前申し込み)  
お子さんも楽しめる企画を考えました！ぜひご家族でどうぞ！

●●●お問い合わせ●●●  
埼玉県立日高特別支援学校  
住所：埼玉県日高市高塚5-9-1  
電話：042-985-4391  
FAX：042-985-4407

## 車椅子だからこそ分かることを体験する



狭い・不安な避難所



暗闇では足元も見えない  
ガラスがあったらパンクしてしまう！



車椅子を押して炊き出し...  
手が離せないし大変！

# 自分でできなくとも人に伝えることはできる



知識を得る =  
自分たちも人を救う  
ことができる

共助の取り組み

社会教育施設



企業



様々な人たちの連携・協力

消防



防災士会



医療関係者



充実した体験

# 外部との連携・ひろがり

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会 H P

防災士会 H P

他県特別支援学校との情報交換

あたりまえ防災体操紹介 取り組みへ  
アクションカード紹介

学校開放講座

地域の人に防災のスキルを

ぼうさい甲子園 小学生の部優秀賞受賞



## P T A 防災委員会

一緒に防災について取り組む



P T A 防災学習会



防災体験プログラム



バックDEずきん製作



## 成果

- ・ 様々な人たちと連携でき、活動が充実した。
- ・ 外部の専門家の指導は分かりやすく、防災への意識を高めることができた。

## 課題

- ・ ポイントを絞ること。
- ・ 他の保護者にどう伝えていくか。
- ・ 地元自治会との連携。

## かわせみ防災プロジェクト まとめ



車椅子の視点から  
提案します

## 頭を守る工夫 バックDEずきんの作製



保護者も工夫して作成。  
ショート訓練で使ってみる

## 肢体不自由校で防災教育に取り組む上での課題「3ない」+1？

時間がない

中・高等部では教科学習、特別活動（学部集会）や総合的な学習の時間で、小学部は自立活動の時間で指導。内容をより理解させるための教科・領域、社会体験学習。

教材がない

ないなら作り出す。各学部の防災担当が計画段階から打ち合わせし、指導のねらいを確認、指導した。各学部の生活年齢等を考慮し、具体的な内容や教材を工夫できた。

実態に合わない

年齢差・認識面・身体面の幅を理解し、全校で共通な学習、学部で生活年齢を考慮した教材を用いた学習、学年では具体的にショート訓練の事前事後指導など分けて指導。

災害は起きない

職員研修を行い、日本中災害が起こる可能性のある「未災地」であることを意識づける。またショート訓練を通じて「いつ・どこでも起きる災害に対応する」ために繰り返し取り組み、意識を向上させる。

# 災害時サポートブック

受援力を高める

この子は(保護者)が  
いなくなるときの



保護者に万が一のことがあった時  
適切な支援が受けられるように

**緊急時サポートブック**

このサポートブックの保持者は病気や怪我、災害などの緊急時の支援を必要としています！ご協力をお願いします。  
個人情報に記載されています。取り扱いにご注意下さい。

※全身が分かる写真を添付して下さい

(内容)  
基本情報・医療情報  
緊急時の様子(生活様式・健康状態)  
お薬情報書またはお薬手帳のコピー  
身体の特徴

学校名	埼玉県立自衛隊附属支援学校
学校住所	埼玉県川島市高宮59-1
学校電話	042-989-4381

顔のアップ写真を添付して下さい

必要最低限の情報を

医療的  
ケア

コミュニ  
ケーション

災害時  
サポート  
ブック

食事

服薬

排泄

身体の特徴・注意事項等(アレルギー・医療ケア含む)

緊急時に必ず伝えなければならぬこと

アレルギー

アレルギー ( ) ( ) ( )  
アブタキシー ( ) ( ) ( )  
はぶこ ( ) ( ) ( )

アレルギー-医療情報の対応

普段の様子(健康面) 全てはまる欄目に記し、または記入してOK!

バイタルサイン 年齢 _____ 歳 性別 _____ 性別 身長 _____ cm 体重 _____ kg 呼吸数 _____ 回/分 脈拍数 _____ 回/分 血圧 _____ mmHg 体温 _____ °C	てんかん発作 ( ) ( ) ( ) 発作の様子 発作が起こる時間帯 発作時の対応
医療ケア ( ) ( ) ( ) 発作が起こる時間帯 どのような状況で発作するか 発作時の対応	アレルギー ( ) ( ) ( ) アブタキシー ( ) ( ) ( ) はぶこ ( ) ( ) ( )

## 特別支援学校で防災に関わる面白さ

防災教育は何をしたらいいのかわからない

自分たちで新たに作ってあげばいい  
命を守る大切さは学校生活全て・教科領域共通

防災教育を進める上で重要な要素

**パフォーマー**（よい題材・教材を組み立て、ストーリーを作り出す）として取り組み

**コンポーザー**（新しいネタを作り出す）としての取り組み

まさに特別支援教育のスキル！

## それでも授業づくりに困ったら…

どの学習でも「こんなことができたらいいな」というねがいから学習課題を設定するので

災害時こんなことが  
できるといいな

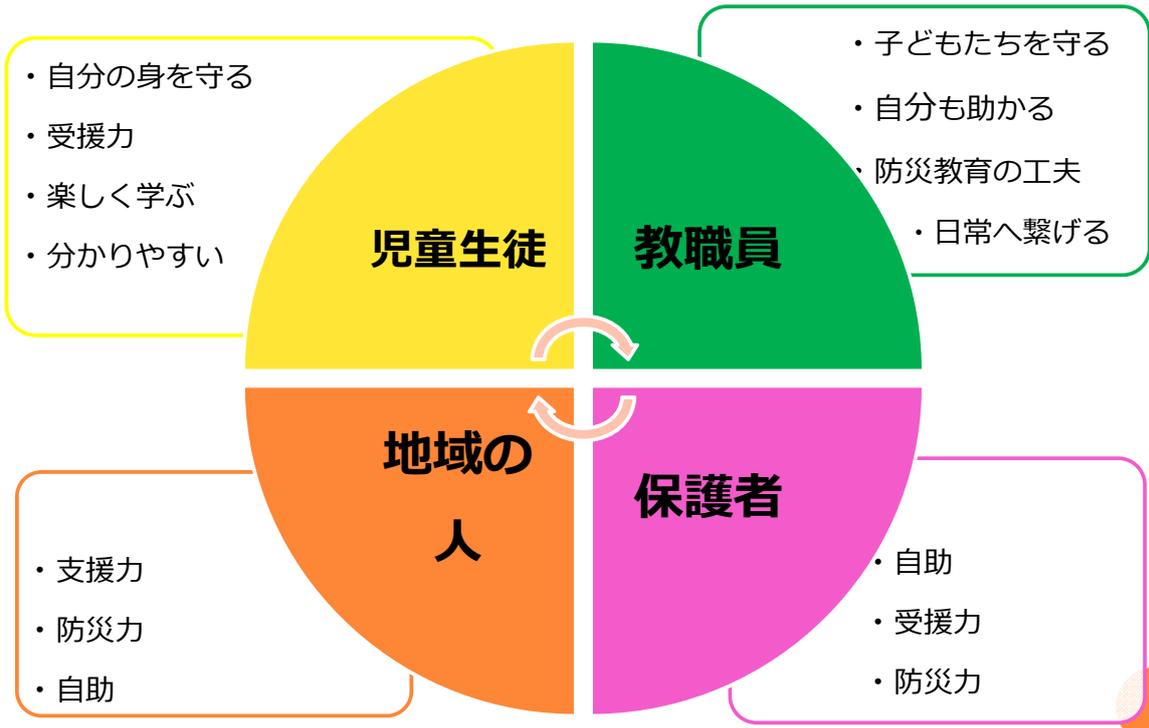
災害時これが  
できないと困るだろうな

という視点で考える

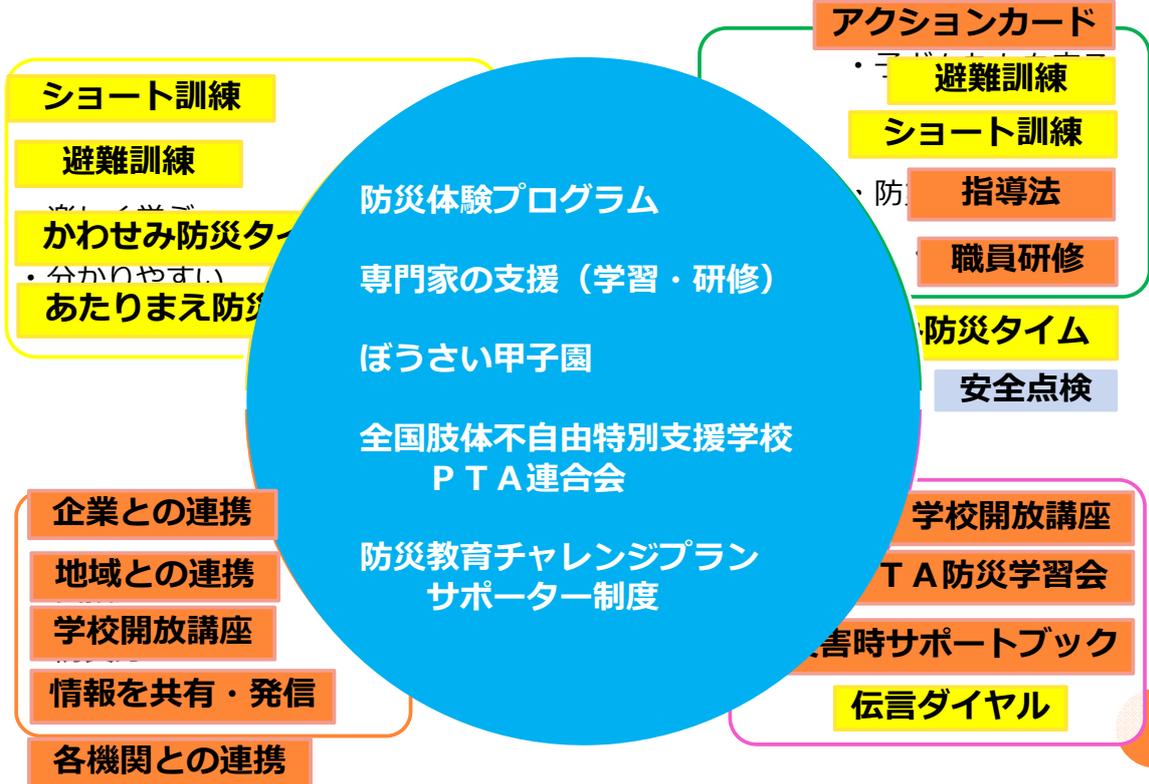
災害をより具体的にイメージすれば学習課題が見つかる

児童生徒の実態に合わせて教材を自由に作りだせるのが  
特別支援学校の教員の強み

# かわせみ防災プロジェクトとは



## 肢体校で大切にしたい 防災教育・防災管理・組織活動そのもの



## 今後の継続予定

- ・ 職員研修の充実 職員の防災意識の維持
- ・ 防災体験プログラム 日高で防災！の定番化
- ・ かわせみ防災タイムの充実
- ・ 災害時サポートブック、バックDEずきんの有効性を検証

3年間、ありがとうございました

これからも取り組み続けます

